

## 「環境報告書」完成イベント

# 『エコ・キャンパスをめざして』

## イベント実施概要

5/26(土) 14:00~16:10  
中百舌鳥キャンパス A15-101  
参加者 36名



### 基調講演 “中百舌鳥キャンパスを生き物のにぎわう新里山に！”

生命環境科学研究科 石井 実教授



「環境報告書」の意義についての解説に続き、中百舌鳥キャンパスに棲む鳥類や水生昆虫、魚類などについて説明がありました。同キャンパスには、絶滅危惧種を含め、約40種の野鳥、40種以上のチョウ類、約20種のトンボ類などが記録されています。

また、中百舌鳥キャンパスは里山の自然を継承しているとし、中百舌鳥キャンパスを“新里山”として地域の生物多様性保全に貢献し、学生に環境保全の心を育むことができるキャンパスビオトープの考え方・取り組みの紹介がありました。

### 「大阪府立大学 環境報告書(平成24年度版)」の概要発表

OPERAs 藤本千恵代表

平成24年度版の大阪府立大学環境報告書の概要についての説明がありました。環境報告書とは何なのか、また、環境報告書で取り上げられている本学の環境対策の紹介がありました。



## パネルディスカッション

### 「これからの大学の環境対策のあり方について」

#### ◎コーディネーター

人間社会学研究科 福永真弓准教授

#### ○パネリスト

生命環境科学研究科 石井 実教授

工学研究科 大塚耕司教授

工学研究科 横山良平教授

経営企画課施設室 中川富雄室長

OPERA s 藤本千恵代表



パネルディスカッションでは、パネリストから自己紹介が行われた後、OPERA s 藤本代表が『学生として大学に言いたいこと』と題したプレゼンテーションを行いました。このプレゼンテーションの中では、大学の環境方針、グリーン購入、廃棄物、環境人材育成等に関し、これからの本学の環境対策のあり方について、学生目線での鋭い問題提起がありました。



学生からの問題提起に対して、各パネリストの見解の表明やフロアとの積極的な意見交換が行われ、大阪府立大学のキャンパス環境対策のこれから進むべき方向性について、学生や教職員の間での相互理解が深まったと思われます。

(司会：OPERA s 副代表 根岸信太郎)